

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 6日

事業所名 はばたき

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	指導訓練室は約60㎡あり、国の設置基準より広いスペースを確保しております。
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	国の人員配置基準は子ども10人に対しスタッフ2人ですが、加配要件を満たす人員配置を行っております。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	段差のない室内、大きなトイレの設置などバリアフリーに配慮された建物になっております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	月1回のデイのミーティングの他、各担当ごとにミーティングを行い業務改善に取り組んでおります。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	アンケートをもとに改善点を話し合い業務改善につなげております。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	保護者向け、事業所向けの双方のアンケートを、集計後に法人ホームページにて公開しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	60%	40%	現在は保護者の方の評価と事業所内評価のみ行っております。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	年間計画を立て、内部研修や外部研修等に参加する機会を設けております。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	利用開始時及び計画見直し時にアセスメントシートを用いてアセスメントを行っております。また、保護者の方からの日々の連絡や、お子さまの様子、面談などをもとに、個別支援計画を作成しております。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	各デイの活動担当スタッフで定期的にミーティングを行い活動プログラムの立案を行っております。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	粗大運動、微細運動、リズム活動、知育活動等の様々な活動を取り入れ活動が固定化しないよう工夫しております。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	長期休暇では普段できない外出や体験活動を取り入れております。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	個々のお子さまに応じた過ごし方ができるように工夫しながら、個別活動と集団活動を組み合わせた個別支援計画を作成しております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	朝礼にてその日の支援の内容や役割り分担について確認、前日の各デイでのお子様の様子の共有を行っております。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	デイでの会議にて最長でも半年ごとに見直しを行っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%	ガイドラインの「自立支援と日常活動の充実のための活動」「創作活動」「地域交流の機会の提供」「余暇の提供」を組み合わせ合わせて支援を行っております。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	お子さまのことをよく知っているものが会議に参加しております。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	学校からの予定表の確認、引継ぎ時にその日の様子の共有を行っております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	0%	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	必要に応じて各機関との情報共有を行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	100%	0%	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	60%	40%	現在は行っておりませんが、必要に応じて助言や研修等を受けたいと考えております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	60%	40%	現在は行っておりませんが、地域とつながりを持つような機会を作っていきたいと考えております。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	80%	20%	機会がありましたら参加したいと考えております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	クラウドサービスなどを用いてお子様の日々の様子をお伝えしております。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	100%	0%	現在、ペアレントトレーニングは行ってはませんが、今後保護者の方向けの研修会等も検討していきたいと考えております。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に重要事項説明書を基に、保護者に説明を行っております。
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	年1回の面談の他、保護者の方のご希望に応じ相談の機会を設けております。	

保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%	「グラスサンドアート教室」や「しめ縄講座」など保護者の方対象の講座を企画し保護者方同士が交流できる場を作っております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	ご相談があった場合は迅速かつ適切に対応するよう努めております。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	年6回デイ通信を発行し、活動のご様子などをお伝えしております。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	個人情報の取り扱いについて、保護者から同意書を頂き遵守しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	視覚的にわかりやすいように写真やイラストなども用いてコミュニケーションを図っております。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%	0%	地域の方も参加できるようなイベント等を行っております。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	安全計画の策定の他、避難訓練を年2回実施し活動の様子を保護者の方へお伝えしております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	今年度は児童相談所の方に来ていただき研修を行っております。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	対象となるお子様がいる場合は組織的に決定し個別支援計画へ記載する体制をとっております。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	保護者の方と連携し、口に入る物などに関し細心の注意を払っております。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	ヒヤリハットの事例があった場合は、スタッフ間で情報の共有を行っております。